

妊婦健診の際に行う 子宮頸がん検診・HPV検査について

子宮頸がんは、子宮の入口にできるがんで、主にウイルスの感染が原因です。
自覚症状がないまま進行する・発症年齢が女性の出産年齢と重なる、という特徴があります。

松江市では、妊婦一般健康診査（1回目）に含まれている子宮頸がん検診に併せて、25歳以上の
人へはHPV検査を実施しています。

子宮頸がん検診・HPV検査ともに陰性であれば、推奨される子宮頸がん検診は3年後となります
ので、この機会に受診しましょう。

検診・検査の種類	対象者	料金
子宮頸がん検診	妊婦全員	無料 (妊婦一般健康診査に含まれます)
HPV（ヒトパピローマウイルス）検査	25歳以上の人	800円

HPV検査が無料となる人がいます

- 今年度、4月1日現在、25歳・30歳・35歳・40歳・45歳・50歳の人
妊婦健診受診券のHPV検査の欄の「無料」に○があります。
- 以下のいずれかを持参されると、無料になります。
 - ・市民税非課税世帯等無料受診券（事前申請が必要）
 - ・被保護証明書
 - ・福祉医療費医療証（資格証）

HPV検査が対象外となる人がいます

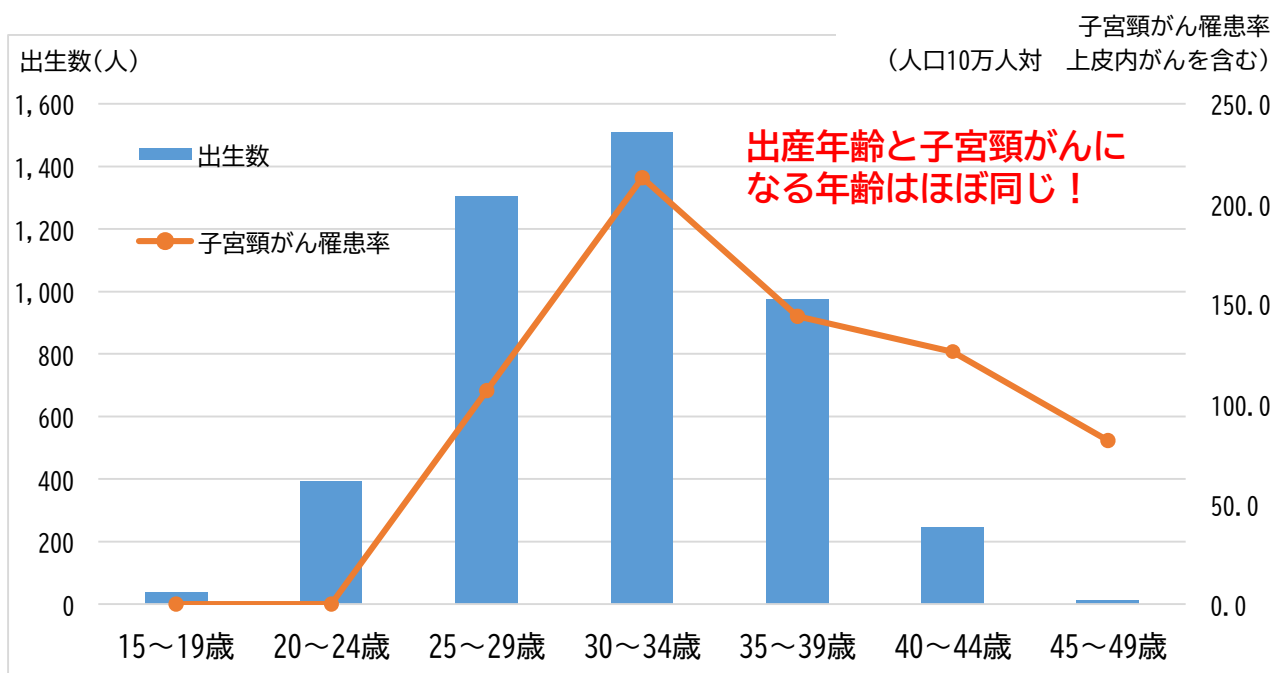
- 24歳以下の人
- 松江市が実施する子宮頸がん検診などで「3年後受診」判定となり、
まだ3年が経過していない人
- 今年度中に「がん検診等受診券」を使って、HPV検査を受けた人

松江市・安来市・出雲市・米子市以外の医療機関では、HPV検査ができない場合があります。
受診する医療機関へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

松江市健康推進課 保健企画係 ☎ (0852) 60-8174

あなたの子宮を守るために HPV検査を受けましょう



島根県のがん登録2020(令和2)年

厚生労働省 人口動態統計 島根県 母の年齢別出生数 2020(令和2)年 より作図

がんになる前の状態で見つけることが大切だよ



【子宮頸がんになるまで】

正常な細胞



HPVに感染した細胞



一部の女性で感染が持続



正常な細胞



変化した細胞



この状態のうちに発見して治療することががんを防ぐための最大のポイントです。



がん細胞



ほとんどの場合は、数年で陰性になります。(ウイルスがいなくなります)
24歳以下では、その割合が他の年代よりも高くなっています。

HPV検査は「ウイルスがいなくなっているか」を確認する検査です。

HPV検査が陽性でも、子宮がん検診を毎年受けていれば、早期発見につながります。